

御意見の要旨及び県の考え方

No.	ページ	素案における該当箇所	御意見の要旨	ビジョンへの反映状況・県の考え方
1	P22	潮流3 経済・産業を取り巻く環境の変化 《宮崎県の状況》	進学や就業期にあたる15～24歳の若年層は支出が増える時期であることから、他県と比較して物価が低い本県の特性を積極的に発信することで、流出抑制につながる可能性がある。 一方で、教育娯楽費の低さは家計負担軽減の利点がある反面、環境面の魅力不足として若年層の流出要因となる可能性もある。娯楽施設の差別化など、魅力向上の取組が必要と考える。	御意見の趣旨については、以下の部分に含まれていると考えております。  <P35> 潮流5《将来に向けた課題》 4段落目 ネットショッピングやライブ配信の普及により、地方にいなから都市部と同じ消費行動ができる環境も整いつつありますが、日々の暮らしの中でスポーツや娯楽など、こども・若者がワクワクし、リアルで楽しめる場を生み出すことで、Uターン・移住者の定着を図るとともに、関係人口の創出につなげていくことも必要です。  <P45> 将来像2【今後の方向性】(3)2番目の○ サイクリングやサーフィンなどのアウトドア活動を楽しめる環境づくりを進めるとともに、国スポで整備された世界基準の施設を生かしたスポーツ・文化等のイベント開催により、若者や女性をはじめ多くの県民がワクワクし、心躍る体験の機会を創出します。
2	P42 P43	将来像1 【今後の方向性】 (1)～(5)	多様な価値観がある中、「生み育てやすい環境の整備・充実」を(1)にすると、息苦しさを感じる人もいます。若者・女性の個人の幸せがあってこそ子を持ちたいと思えるのだと考えるので、今後の方向性の記載順を再検討してほしい。  将来像1【今後の方向性】 (1) 生み育てやすい環境の整備・充実 (2) こどもの可能性を伸ばせる教育 (3) 若者・女性から選ばれる県づくり (4) 寛容で多様性ある社会づくり (5) 地域で守り支える健康・人権	記載の順番は施策の優先順位を示したものではありませんが、御意見の趣旨等を踏まえ、以下のとおり修正します。  <P42・43> 将来像1【今後の方向性】 (1) 寛容で多様性ある社会づくり (2) 若者・女性から選ばれる県づくり (3) 生み育てやすい環境の整備・充実 (4) こどもの可能性を伸ばせる教育 (5) 心身共に健やかに活躍できる社会の実現
3	P43	将来像1 【今後の方向性】 (4) 寛容で多様性ある社会づくり 2番目の○	各企業や自治体でセクハラなどのハラスメント対策をもっと強化するべきだと思うので、追加してほしい。	御意見の趣旨については、以下の部分に含まれていると考えております。今回いただいた具体的な御提案については、今後、施策展開を図っていく上で参考とさせていただきます。  <P42> 将来像1【今後の方向性】(1)1番目の○ 国籍・性別・年齢・障がいの有無などにかかわらず、安心して暮らし、学び、働ける環境の整備を促進するとともに、性別による固定的な役割分担意識をはじめとするアンコンジャス・バイアスの解消に向けた取組を進めます。 (No.2の御意見を踏まえ、素案から文章構成を一部修正しております。)
4	P42 P43	将来像1 【今後の方向性】 (3) 若者・女性から選ばれる県づくり	「若者・女性から選ばれる県づくり」の方向性に異議はないが、その前提となる移動環境の整備が計画に明示されていない。若者の自動車免許取得率は全国的に低下しており、車を前提としたまちの設計が若者の行動圏を構造的に制限していると考えられることから、移住・Uターン促進策は、移住後の移動手段の確保と一体で設計されなければ実効性を持たない。 このような状況を踏まえ、電動アシスト自転車(eバイク)・特定原付(2023年法改正で創設、免許不要・16歳以上)・シェアサイクルを組み合わせた「車を所有しなくてもアクセスできる暮らし」の設計を、本将来像の方向性に明示してほしい。	御意見の趣旨については、以下の部分に含まれていると考えております。デマンド型交通や公共ライドシェアは例示の一部であり、今回いただいた具体的な御提案については、今後、施策展開を図っていく上で参考とさせていただきます。  <P44> 将来像2【今後の方向性】(1)2番目の○ 従来の交通サービスが成り立たなくなる地域を念頭に、デマンド型交通や公共ライドシェア等により、地域内の移動手段を確保するとともに、基幹集落と県内の中心拠点を結ぶ地域間交通を維持し、持続可能な交通システムを構築します。
5	P44 P45	将来像2 【今後の方向性】 (1) 地域社会の維持・充実 (2) 安全・安心で持続可能な暮らしづくり	デマンド型交通・公共ライドシェアによるラストマイル確保の方向性は評価する。しかし、中山間地域における移動の空白を埋める手段として、eバイク・特定原付が位置づけられていないため、中山間地域の交通維持策としてeバイク・特定原付による日常移動支援を記載してほしい。 併せて、高齢者の免許返納後の移動継続手段として三輪eバイク等の導入支援を方向性に加えてほしい。	
6	P46 P47	将来像3	人手不足も婚姻数・出生数の減少も根本は宮崎の経済が弱いことが原因だと考えている。農業や観光業が宮崎の代表的な産業と言われることが多いが、それ以外の産業振興にも力を入れることがわかるような記載がほしい。	御意見の趣旨については、以下の部分に含まれていると考えております。  <P24> 潮流3《将来に向けた課題》 1段落目 人口減少下においても、地域経済を成長させ、県民所得を維持していくためには、本県の強みであるフードビジネスに加え、半導体関連、エネルギー、スポーツ等の分野において、戦略的な投資によりイノベーションの創出や付加価値の向上を図り、次なる成長のエンジンとなる「稼ぐ」産業を創出・育成することが求められます。  <P46> 将来像3【今後の方向性】(2)1番目の○ 九州で一体となった半導体・電子デバイス製造業等の集積に加え、省エネ対策や再生可能エネルギーの利用拡大・地産地消などにより、GXを推進し、本県の豊富なクリーンエネルギーを活用した県内産業の競争力強化や新産業の創出、企業立地に取り組みます。
7	P46	将来像3 【今後の方向性】 (2)「稼ぐ」成長産業の創出・育成 2番目の○	スポーツの「全県化・通年化・多種目化」の方向性に関して、サイクルスポーツが有力な手段として言及されていない。サイクリストは一般観光客より一人当たり消費額が高く、宮崎の温暖な気候は冬季でも走れる全国有数の環境であり、インバウンド需要(免許不要・言語バリアが低い)とも親和性が高い。 このため、宮崎市・都城市・延岡市・日南市・えびの市を起点とするサイクリングルートの整備と、サイクルツーリズムをスポーツ成長産業化の具体的施策の一つとして明記してほしい。	長期ビジョンにおいては、「スポーツの成長産業化」に関して、具体的にスポーツ名はいずれも記載しておりませんが、現在、県では関係団体と連携し、5つの競技別誘致部会(ラグビー、屋内系競技、水泳、テニス、自転車競技)を設置し、スポーツ大会・キャンプの戦略的な誘致に取り組んでおります。なお、今回いただいた具体的な御提案については、今後、施策展開を図っていく上で参考とさせていただきます。